

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		交通災害共済事業		課名	危機管理課	事業No.	39
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始	S43	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
法令・例規等		長野県民交通災害共済条例					
事業目的	対象	市民					
	意図	交通事故により市民が負傷した際、見舞金を支給し経済的負担を軽減します。					

2 事業内容

3年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・市内全世帯に交通災害共済の申込書及び加入案内チラシを配布し加入促進を行いました。(加入率46.8%) ・見舞金請求手続きを迅速かつ的確に行いました。		加入事務報償金			1,720					
			郵送代			2,962					
			加入促進広告			88					
			会計年度任用職員人件費			616					
			その他の経費			135					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	共済加入者	人	50,000	45,305							
	見舞金請求事務処理	件	100	98							
	加入促進広報	回	3	4							
3年度 決算 (千円)	予算額	5,771	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,521	(そ) 負担金								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	2,939								
一般財源	2,582										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	11	1	3	617	616	会計年度任用職員人件費
2	1	2	1	11	11	1	5,154	4,905	交通災害共済費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・任意加入の交通事故見舞金制度であり、加入率は前年度と比較して横這いです。
上記の課題解決のための有効策	・交通災害共済組合事務局と連携し、有効性及び即効性がある広報を行う必要があります。
次年度に向けての取り組み	・各地区内での交通安全講習会等の機会を通じ、共済内容や加入方法の説明を行います。